

有家より南進するバイパスで交差する北有馬・小浜線にインターチェンジの設置を

市長 状況を見ながら判断していきたい。



黒岩 英雄 議員

議員 有家、西有家間のバイパス(自動車専用道路)の事業化決定と聞いた。そこで、県道北有馬・小浜線の整備と有家より南進していく自動車専用道(バイパス)の交差点にインターチェンジを造っていただきたい。

市長 国道251号のバイパスとして整備される一般県道雲仙有家線(西有家工区)の事業化については、市としても、地域の更なる活性化のために、全力で取り組んでいくので、引き続きの支援と協力をお願いしたい。

現在、西有家町に銀行窓口、ATMが無いが、新たに設置することはできないのか

地域振興部長 今後金融機関、事業者に対して働きかけを行っていく。



中村 哲康 議員

議員 私が議員になった8年前から度々伺っているが、鮎帰りの滝の工事の進捗状況は。

市長 令和6年度においてトイレと駐車場の整備を行い、滝周辺の公園整備事業の基本構想を進めている。

地域振興部長 令和7年度からの取組について、まず地域住民の皆様へ説明会を開催し、公園整備の基本設計業務に取り組み間もなく完成する予定である。令和8年度は、地

また、現在整備中の大亀矢代工区の早期完成や、一般県道雲仙有家線(西有家工区)の早期着工と併せて、島原半島循環型ネットワークの形成に向け、状況を見ながら判断していきたい。

議員 黒田八反間(県道入口「コレジヨ間」)を通行可能に。

建設部長 県と相談の元、現況の道路幅員で県道へ接続させて交通解放する方向で考えている。

議員 北有馬地区の小中一貫校(義務教育学校)について、口加高校、口之津中学校、加津佐中学校3校で中高一貫校の設置について、前回は質問していたが、その後の状況は。

教育長 南島原市小中学校適正規模・適正配置在り方検討委員会が5回開催され、3月中旬に報告書が提出される予定。中高一貫校の設置については、県の前川教育長、松本市長、高校教育課と

域の皆様が整備計画の内容を確認いただき、詳細設計業務に取り組んでいきたいと考えている。令和9年度は、用地の契約等を進め、公園整備のための仮設道路の整備、それから早期完成を目指していく。また、公園整備に併せて道路整備も進めていく。

議員 相統土地国庫帰属制度の対象や課題、農業委員会の対応について伺う。

農業委員会会長 まず、この制度を利用して申請できる方は、相統や遺贈で土地を相続した相続人で、本制度の開始前に相続した土地でも申請できる。また、兄弟など複数で相続した共同所有の土地でも申請できる。ただし、その場合は所有者全員で申請する必要がある。なお、生前贈与を受けた相続人、売買などによって自ら土地を取得した者、法人などは申請できない。

農業振興について

私が参加し、意見交換会を実施した。県教育委員会は令和8年6月県議会で大綱を発表し、当該地域での県立高校の在り方について意見聴取を実施する予定とされている。今後も県教育委員会と情報共有や意見交換会を行いながら本市の小中学校や市内高校存続に関わりを持っていきたい。

その他の質問

〇人口減少対策について

南島原市の人口推移

	加津佐	口之津	南有馬	北有馬	西有家	有家	布津	深江	計
大正14年	9,110	8,634	8,189	6,096	10,709	10,967	6,051	7,544	67,300
昭和22年(ピーク年)	12,513	10,915	11,330	8,517	14,271	15,387	8,083	10,239	91,255
平成2年	9,208	7,866	7,479	4,797	9,730	9,853	5,473	8,422	62,828
令和2年	6,142	5,020	4,718	3,288	6,836	7,385	4,118	7,380	44,887
令和7年	5,280	4,304	4,125	2,812	6,059	6,724	3,784	6,700	39,788

課題としては、申請のハードルの高さや国庫に帰属できない土地の条件が主な課題と考えている。

議員 約2期8年の議員活動を振り返り、農業者の所得向上、後継者不足の解消、基盤整備事業の推進、スマート農業の導入等、農業の発展のために頑張ってきたが、これらの山積する課題に直面し、新たな課題も見えてきた。今後も関係機関と一丸となり、耕作放棄地の解消、基盤整備事業の推進、職権登記、また、国庫帰属制度等を利用して取り組んでいきたいと思う。



鮎帰りの滝に通ずる道路の拡幅工事の状況

サテライトオフィス事業に関する補助金が返還されていないが

市長 お詫び申し上げます。解決に向け取り組んでいる。



田中 次廣 議員

議員 4期目への立候補を表明されているが。

市長 次の世代に希望ある南島原市をつないでいくことが責務と考えている。

多目的運動広場への道路建設について

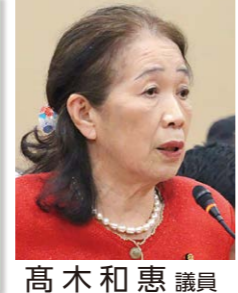
議員 多目的運動広場旧有馬商業高校への道路建設要望が関係者から提出されているが進捗状況は。

建設部長 地元の意向と県との意見の隔たりがあり解決に至っていない。

議員 関係者と機関との調整ができれば、建設するの。

西有家庁舎の駐車場に銀行のATMを。必ず設置！約束を！

市長 ATMを建てていただいで利用することは可能です。



高木 和恵 議員

議員 参考①の説明を。

福祉保健部長

- ◎高齢者(65歳以上)世帯に配布。
- ◎個人医療情報カプセル。
- ◎個人情報を用紙に書いてカプセルに入れる。
- ◎冷蔵庫に保管するもの。



緊急医療情報カプセル

議員 市長の政治姿勢について

総務部長、国の補

市長 合意が整えば推進を図る。

サテライトオフィス整備事業について

議員 サテライトオフィスの建物は固定資産評価額に基づき仮差し押さえを行っているが評価の見直しは行ったのか。

地域振興部長 新たに財産保全が発生する場合を想定し不動産鑑定を行った。

議員 サテライトオフィス整備事業に関する補助金が返還されていないが市長の見解は。

市長 深くお詫び申し上げます。解決に向け全力で取り組んでいる。

振り込んだ補助金について

議員 エバーグリーンが下請け業者に対しての返還訴訟で、昨年5月26日6千万円の支払い命令の判決が出されているが、その後の状況と、コンサルタント会社に対する返還訴訟の経過は。

地域振興部長 判決後、状況の把握に努めているが



多目的運動広場

助金は実績払ですよね。

総務部長 基本的にはそうです。

議員 市長は被害届ではなくて、告発ですね。警察とは相談しているのでしょ。告訴できる状態ですか。裁判には至っていないのでしょうか？

地域振興部長 現在告訴している分については、何も動きはございません。裁判はなっていない。

議員 バスのコマーションについて。

地域振興部長 アニメを活用したふるさと応援寄附金事業は、ふるさと納税の寄附を募るためのPRの事業として実施。本市の観光スポットや風景がアニメの中に登場したり、九州最大の都市である博多や地元においてラッピングバスを走らせることで、本市を知って、応援したいと思ってもらうことを寄附につなげることを目的としている。

■ラッピングバスの概要(西鉄バス)

(期間) R4・11・1(費用) R6・10・31(2年間)

(費用) R4 299万2千円 R5 167万2千円(鳥鉄バス)

(期間) R4・10・20(費用) R7・10・19(3年間)

R4 156万2千円 R5 79万2千円 R6 79万2千円

■効果 アニメの舞台として紹介されたことで、聖地巡礼として全国からの来訪が確認されている。SNSでの情報発信や現地の来訪状況からみても、本市の認知度向上や来訪につながっている。また、ふるさと納税の寄附額も年々増加している。

■財源 ふるさと応援寄附金100%充当。



ラッピングバス